



# 本日のテーマ「あなたの知らない世界」

実施日：2019年7月12日



## 1 「どうぶつたちの給食時間」

並木美砂子／著 2017年 旅するミシン店 【480.7】

動物園の研究をしている著者が、観察しているゴリラや  
いままで関わったことのあるヘンギンやおひる、ゾウやけい、人気の  
あるハシビロコウやオオカモがでてきます。「どうやって食べるの  
かな？」という方にスポットを当てています。ハシビロコウが個人的に



## 2 「日本人の知らない日本語 1~4」 大好評です

蛇蔵、海野凪子／著 2009~2013年  
メディアアクトリー 【810.4】

日本語学校の先生である著者と各国の外国人学生が  
繰り広げる笑える日本語バトル本です。日本人なのに知らな  
い言葉がたくさんあって、「(まへ)よしあど」とか思ってんでも  
そこないあります。コミックエッセイです。お気軽にどうぞ!!



## 3 「始皇帝と大兵馬俑／特別展」

東京国立博物館／ほか編集 2015年 NHK

【L222.0//キウルク】  
九州国立博物館でおこなわれた特別展の回録です。  
中国を統一した秦の成り立ちや、兵馬俑の知らない見た一面も  
見れますよ。館内の九博コーナーでは過去の展示の回録  
が貸出できます。



## 4 「エンピツ戦記 誰も知らなかつたスタジオジブリ」

館野仁美／著 平林享子／構成 2015年 中央公論新社 【778.7】

→ 朝ドラ。“なっとうら”のアニメーション監修をされている方です。  
“ヒカリのトロ”から“思い出のマニ”まで27年間ジブリに  
在籍され、動画のクオリティを高めてこられた著者による  
スタジオジブリの回顧録です。中間管理職のような、  
たいへん気をつかう役回りだったようで、リスクブレックなジブリ  
の様子もうかがえます。



## 5 「旅をする木」

星野道夫／著 1999年 文藝春秋 【295.3】

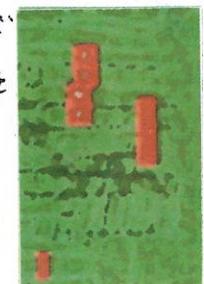
アラスカで写真家、随筆家として活躍されて  
いた星野さん。木々(主への大きさ)をかいてと  
木々に出来事やアラスカのエベレスト、自然や  
動物たちのことをと、世界観が広がる  
エッセイです。



## 6 「目坐喫茶」

いしいしんじ／著 2015年 淡交社 【791.0】

この本の中には柔らかい“茶の湯”的世界が  
あります。いつももの日常とは違った空間を  
静かに気持ちで味わえる本です。



## 7 「Go」

金城一紀／著 2000年 講談社 【S933木】

「在日」という人たちの立場と、それによって引き  
起される差別や偏見がよく描かれてます。



## 8 「妖怪絵草紙」

湯本豪一／編著 シャーニ・ウィルソン／訳

2018年 パインインターナショナル 【Y721.8】

下巻の独特的な顔立ちをした愛らしい人面キャラクター  
たちから、江戸市中や近郊で遊興する様子を描いた  
「人面草紙」。おならをして怒られている人面、団子の踊りをする  
人面、一人はしゃぐ人面と迷惑そうな人面たちなど、なぜ  
その場面?というようなゆるくてショートした人面たちが  
たくさん登場します。

